

【公開シンポジウム】

中山間地域のスマート放牧現地シンポジウム 2026 in 美濃加茂

■ 趣旨：

放牧を取り入れた和牛飼養は、飼料費や労働負担の軽減に加え、利用の減った農用地の有効活用が期待できることから、中山間地域において注目されています。とりわけ、ICT 機器や機械化技術を活用して放牧管理の効率化・省力化を図るスマート放牧技術は、少人数でも持続的な飼養管理を可能とする手段として期待が高まっています。本シンポジウムでは、放牧を取り入れて動物福祉に配慮した和牛飼養を実践している岐阜大学の取り組みと、荒廃農地の整備や放牧監視技術を含むスマート放牧技術の開発・普及に取り組む農研機構西日本農業研究センターの成果について、現地での技術実演を交えながら紹介し、最新の知見を提供します。

■ 開催日時と場所

令和 8 年 1 1 月 1 1 日（水曜日） 9:30～12:00 技術説明会 （9:00～会場受付）

13:30～15:00 技術実演会 （13:00～現地会場受付）

URL:<https://www.naro.go.jp/event/list/2026/10/177784.html>

・ 技術説明会

みのかも文化の森 緑のホール（〒505-0004 岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1）

・ 技術実演会

岐阜大学美濃加茂農場（〒505-0016 美濃加茂市牧野 1918-1）

マイクロバス移動は

美濃太田駅 8:50 発、9:00 着* みのかも文化の森（*見込み時刻；以下、同様）

みのかも文化の森 12:50 発、13:10 着* 岐阜大学美濃加茂農場

岐阜大学美濃加茂農場 15:10 発、15:30 着* みのかも文化の森・15:50 着* 美濃太田駅

小雨決行。荒天の場合は、緑のホールでの技術説明会のみ開催。

■ 内容

・ 技術説明会（9:30-12:00、みのかも文化の森 緑のホール）

1）開会挨拶 (9:30～9:40)

岐阜大学応用生物科学部附属岐阜フィールド科学研究教育センター

センター長 教授 大場伸也

2）話題提供 (9:40～12:00)

(1) 飼養コスト削減に向けた放牧による荒廃農地活用と

スマート放牧技術導入全般の紹介

農研機構西日本農業研究センター グループ長兼チーム長
平野 清

(2) 荒廃農地の再生に利用できる新型フレールモア等の紹介

農研機構西日本農業研究センター 主任研究員 柿原秀俊

(3) GPS を活用した放牧牛の位置看視技術の紹介

農研機構西日本農業研究センター 領域長 渡邊也恭

(4) 牛の攻撃行動が起こりにくい水飲み場誘導路を利用した

放牧牛の個体管理と無線による放牧牛探索技術

農研機構西日本農業研究センター 主任研究員 胡日査

(5) 野生動物管理の基本 -岐阜県との取組や畜産との接点を交えて- (仮)

岐阜県野生動物管理推進センター

岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター

特任助教 鈴木嵩彬

(6) 意見交換・総合討論

農研機構西日本農業研究センター グループ長兼チーム長
平野 清

・ 技術実演会 (13:30-15:00、岐阜大学美濃加茂農場)

(1) 岐阜大学美濃加茂農場における研究・人材育成と

クラウドファンディングによる美濃加茂農場の整備の実際

岐阜大学応用生物科学部 教授 八代田真人
准教授 二宮 茂
准教授 大塚剛司

(2) 3 種のフレールモアによる荒廃農地の再生技術の実演・紹介

農研機構西日本農業研究センター 主任研究員 柿原秀俊

(3) 放牧看視の省力化に向けた GPS による放牧牛の位置看視システムの紹介

農研機構西日本農業研究センター 領域長 渡邊也恭

(4) 無線探索技術を用いた放牧牛探索の実演

農研機構西日本農業研究センター 主任研究員 胡日査

(5) 質疑応答

農研機構西日本農業研究センター グループ長兼チーム長
平野 清

閉会挨拶

農研機構西日本農業研究センター 領域長 渡邊也恭

- 定員 会場：120 名、オンライン（技術説明会のみ）：300 名
定員に達した時点で締め切らせていただきます。

- 参加申込方法

申込先：<https://www.naro.go.jp/event/list/2026/10/177784.html>

上記サイトの参加申込参加申込フォームに必要事項を記入して送信してください。

受け付け締め切り：令和8年10月27日（火曜日）

- 主催：農研機構西日本農研センター、東海国立大学機構 岐阜大学
後援：岐阜県、美濃加茂市

- 問い合わせ先

岐阜大学応用生物科学部 動物栄養生態学研究室 八代田 真人

E-mail: yayota.masato.t4@f.gifu-u.ac.jp

農研機構 西日本農業研究センター技術適用研究チーム事務局

E-mail: sh-SmartGrazing@naro.go.jp

- 防疫に対する諸注意

岐阜大学美濃加茂農場への入場に際しては、飼養衛生管理基準に基づいて、以下を原則とします。

- 1) 美濃加茂農場外で、家畜および野生動物に接触があった場合には、当日の来場は原則として避けてください。やむを得ない場合には、当該活動の終了後に、シャワーで全身を洗浄した上で、洗濯済みの別の衣類および靴に着替えてから入場してください。
- 2) 海外からの帰国後1週間以内のものは、美濃加茂農場内に立入ることはできません。
- 3) 農場では、事務局で準備したブーツカバー（不織布）と防護服を着用していただきます。
- 4) 消毒槽の他に、手指の洗浄及び消毒ができるアルコールスプレーを設置します。